

1 この科目の構成について

教 科	保健体育	科 目	体 育	単 位	2単位
対象コース	カレッジ・情報ビジネスコース	対象クラス	2年1組～6組（男子）		
使用教科書	なし				
使用副教材	なし				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
	<p>①運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで運動するとともに、公正、協力、責任や健康、安全に留意する態度を身に付けます。</p> <p>②自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え工夫する力を身に付けます。</p> <p>③各種の運動技能や体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付け、運動の技能や体力を向上させます。</p> <p>④現代社会におけるスポーツの意義や必要性を理解し、豊かなスポーツライフを実現するための知識や方法を身に付けます。</p> <p>人間の本能でもある「動く楽しさ」に「分かる楽しさ（思考判断・知識理解）」「できる楽しさ（運動技能）」「仲間と関わる楽しさ（関心意欲態度）」が加わることで、運動の楽しさや喜びはさらに膨らみます。運動を科学的に理解し実践することにより、その楽しさを十分に味わうことができるよう自ら進んで運動しようとする意欲を持ちましょう。そして、生徒諸君が生涯にわたり運動に親しみ、豊かなスポーツライフを実現できるように、そのための基礎を作るのが「体育」の授業です。</p>
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
	<p>(1) 集団行動 (2) 体づくり運動 (A,体ほぐしの運動 B,体力を高める運動) (3) 新体カテスト</p> <p>(4) 球技 ①バレーボール ②ソフトボール ③テニス ④サッカー ⑤バスケットボール ⑥バドミントン ⑦タグラグビー</p> <p>(5) 体育理論</p>
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
	<p>(1) 学校・ 体育の授業では誰もが運動の楽しさを味わうことができます。そのためには自ら進んで運動しようという意欲が大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 何かの「つまずき」によって生じた運動に対する苦手意識は、その原因を探ることで解決できます。同様に体育の授業では、自分の中間の「つまずき」の原因＝「課題」を見つけ出そうとする意識が大切です。自分にとどまらず中間の心や体の状態に目を向け、課題の解決方法を工夫しましょう。 • 体育の授業は学校指定の体育服を着用します。使用後は洗濯をして衛生面に配慮してください。 • 授業はチャイムと同時に開始しますので、着替え及び活動場所への移動は休み時間の内に完了してください。 • 見学者は授業前に担当者に申し出て指示を受けてください。 • 貴重品の管理をしっかりと行ってください。 <p>(2) 家庭・各競技における大会に関心を示し、マスメディアを活用することでよりハイレベルな技能を自分なりに取り入れてください。</p>

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
	<p>○行動観察・・・毎時間の行動を観察します。怠けて参加しなかったり、服装などのルール違反は平常点評価が減点されます。</p> <p>○実技試験・・・単元ごとに実技の試験が実施され実技点として評価します。</p> <p>○授業参加・・・出席点として評価します。</p> <p>1年間の評定は、実技試験、平常点を参考に総合的に判断して決定します。</p>
評価における定期考査の割合	
50 %	

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
	<p>(1) 関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> • 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしているか。 • 個人生活や社会生活における健康、安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしているか。 <p>(2) 思考・判断</p> <ul style="list-style-type: none"> • 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して自己や中間の課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持や体力を高めるための運動の合理的な行い方や計画的な仕方を考え、工夫しているか。 • 個人生活や社会生活における健康、安全について課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表しているか。 <p>(3) 運動の技能</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自己の能力と運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけているか。 <p>(4) 知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> • 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論を理解しているか。 • 個人生活や社会生活における健康、安全について課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解しているか。

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点				
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知	
学 期	4	■オリエンテーション ■集団行動 1 姿勢 2 方向変換 3 集合、整とん、番号、解散 4 列の増減 5 開列 6 行進 7 礼 ■体づくり運動 1 柔軟運動 2 腕立て伏せ 10回 3 腹筋 10回 4 背筋 10回 5 馬跳び 10回 ※通年の準備運動で行います。 ■新体カテスト 1 握力 2 立ち幅跳び 3 上体起こし 4 長座体前屈 5 反復横跳び 6 シャトルラン 7 ハンドボール投げ 8 50m走 ※スポーツテストの結果を計算し、評価の参考にします。	<ul style="list-style-type: none"> 活動目標・年間計画を知り、授業の進め方を理解します。 道徳教育を実施 集団行動の主な行動様式を身に付けます。 集団の約束や決まりを守って行動します。 機敏・的確に行動します。 互いに協力して自己責任を果たします。 リーダーの指示に従って行動します。 安全に留意して行動できるようにします。 体づくり運動に対する関心や意欲を持って互いに協力して運動します。また、健康や安全に留意して運動します。 自分の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を工夫できるようにします。 自分の体力や生活に応じて、体力を合理的に高めるための運動ができるようにします。 体ほぐし運動の必要性や運動の行い方、心身への構成の仕方を理解し、知識を身につけます。 <p>◎自分の体力・運動能力の現状を確かめるために実施するものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 体力測定に意欲的に取り組み、すすんで測定してください。 測定の方法や測定の仕方を理解してください。 測定の結果を踏まえて、自己の能力を高めるよう努力してください。 	●				
		5	■バレーボール 1 パス 2 スパイク 3 サーブ 4 ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> オーバーハンドパス、アンダーハンドパスの技術を身につけます。 セッターとのコミュニケーションをとり、スパイクを打ちます。 オーバー、アンダー、フローターのスーブの技術を身につけます。 実技試験を行います。 	●	●		●
		6	■ソフトボール 1 スローイング 2 キャッチング 3 ピッチング 4 ゲーム ※雨天時は体育館でバスケットボールの試合をします。	<ul style="list-style-type: none"> 1対1でキャッチボールをしながらゴロ、フライの捕球を練習します。 スタンダードモーションでピッチングの練習をします。 ゲームによって各技能の確認をします。 実技試験を行います。 	●	●		●
		8	■テニス 1 ラケットの握り方 2 サーブ 3 ストローク 4 ボレー 5 簡易ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> コンチネンタルグリップ、イースタングリップ、ウェスタングリップを身につけ、動きの中で合った握り方を選択できるようにします。 グリップの握り方、ストロークを身につけたらラリーを続けられるようにします。 ダブルスのゲームを行います。 実技試験を行います。 	●	●		●
		9	■サッカー 1 ドリブル 2 キック 3 シュート 4 ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ゲームを中心に行い、ゲームを通して、ドリブル、キック、シュートなどの基本的技術を身につけます 	●	●		●
		10						
学 期								

3 学 期	11	■バスケットボール 1 ドリブル 2 パス 3 シュート 4 ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドリブル、レイアップシュート、セットシュート等、バスケットの基本技術を身につけます。 ・ ゲームによって各技能の確認をします。 ・ 実技試験を行います。 	●	●	●	
	12						
	1	■バドミントン 1 サービス 2 ストローク 3 スマッシュ 4 簡易ゲーム		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次で習得した動きの中で合った握り方を選択できるようにします。 ・ 展開の中でスペースを考えながら、フライトの選択をし確実にシャトルをとらえる技能を身につけます。 ・ ダブルスのゲームを行います。 ・ 実技試験を行います。 	●	●	●
	2						
	3				■タグラグビー（室内） 1 パス 2 キャッチ 3 ステップ 4 簡易ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ パスとキャッチの技能を習得します。 ・ ステップで相手を抜く技能を習得します。 ・ コミュニケーションにより、ボールをつなぐ技能を習得します。 ・ タグラグビーによるゲームをします。 	●